

あかの市議会だより

第60号

令和6年
6月 定例会号
令和6年7月16日 発行

主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P1-2
常任委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問(11人)	P5-7
次回定例会の予定ほか	P8



6月9日、スポーツ&レクリエーションフェスティバル 2024 が開催され、会場には子どもたちの笑顔と元気な声があふれていました。

6月2日、阿賀野市商工会誕生記念イベントが開催され、阿賀野高校の生徒によるダンスが披露されたり、団子まきが行われたりして、たくさんの人でにぎわいました。

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
6月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

6月定例会

一般会計補正予算(第1号)

主な内容

○住民税非課税世帯に対する価格高騰対策等重点支援給付金給付事業費 **9,667万1千円**

物価高騰により厳しい状況にある生活者への支援を目的とし、令和6年度住民税非課税世帯を対象に、1世帯当たり10万円を給付。

○住民税均等割のみ課税世帯に対する価格高騰対策等重点支援給付金給付事業費 **7,037万1千円**

物価高騰により厳しい状況にある生活者への支援を目的とし、令和6年度住民税均等割のみ課税世帯を対象に、1世帯当たり10万円を給付。

○子育て世帯に対する価格高騰対策等重点支援給付金給付事業費 **3,014万円**

令和6年度住民税非課税または均等割のみ課税世帯のうち、子育て世代を対象に、子ども1人当たり5万円を追加給付。

5月10日に
臨時会が開かれました

6月定例会が
6月4日～18日の
会期で開かれました

4日 本会議

- 一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目(4人が質問)

5日 本会議

- 一般質問2日目(5人が質問)

6日 本会議

- 一般質問3日目(2人が質問)

10・11・14日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案審査等

18日 本会議

- 各常任委員会の審査報告の後、討論を経て採決
- ※議決結果は2ページ

一般会計補正予算(第1号)

主な内容

- 高齢者予防接種事業費 1億921万9千円**
定期接種となった新型コロナワクチン予防接種に必要な費用を計上。
- 農林水産業総合振興関係事業費 1,788万円**
米のコスト低減や意欲ある農業者の育成を図るため、事業経費に対する補助費を計上。
- 小学校維持管理事業費 530万円**
市内小学校6校における校庭遊具一斉点検の結果に基づき、老朽化した遊具の更新や撤去を行うための工事費を計上。

阿賀野市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

介護報酬改定に伴い、介護医療院施設利用料や介護老人保健施設利用料を改定するほか、健康診断検査項目の変更により、健康診断等に要する使用料・手数料の一部を改定するため、所要の改正を行うものです。

工事請負契約の締結について

京ヶ瀬小学校校舎の長寿命化や同校に隣接する京ヶ瀬学校給食センターを整備するため、契約を締結するものです。



5月臨時会、6月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

5月10日臨時会

議案名				議案名			
審査した委員会※				審査した委員会※			
議決結果				議決結果			
専決	令和5年度阿賀野市一般会計補正予算(第13号) 令和6年3月29日専決	省略	承認	専決	阿賀野市税条例の一部改正について 令和6年3月31日専決	省略	承認
	阿賀野市国民健康保険税条例の一部改正について 令和6年3月31日専決	省略	承認				

6月定例会

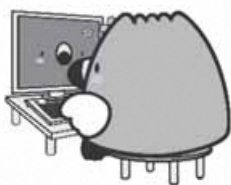
議案名				議案名			
審査した委員会※				審査した委員会※			
議決結果				議決結果			
選挙	阿賀野市選挙管理委員並びに補充員の選挙	省略	※1	その他	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	社厚	可決
	※1 指名推薦により 選挙管理委員に、小林壽英氏、八木美代子氏、佐久間榮一氏、坂詰武氏が当選 補充員に、齋藤正弘氏、小林正男氏、小野明夫氏、荒木裕行氏が当選				工事請負契約の締結について (京ヶ瀬小学校校長寿命化改良等工事(建築))	省略	可決
補正予算	令和6年度阿賀野市一般会計補正予算(第1号)	総文 社厚 産建	可決		工事請負契約の締結について (京ヶ瀬小学校校長寿命化改良等工事(電気))	省略	可決
	令和6年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決		工事請負契約の締結について (京ヶ瀬小学校校長寿命化改良等工事(機械))	省略	可決
	令和6年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決	※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会 ◆各委員会における審査結果は、市ホームページで見ることができます。			
条例	阿賀野市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	社厚	可決				

議会の情報は市ホームページをご覧ください

●検索サイトから 阿賀野市議会

本会議会議録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。

ぜひご利用ください。



●中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。視聴したいものを選んでクリック！



阿賀野市
イメージ
キャラクター
「ぐずっちょ」

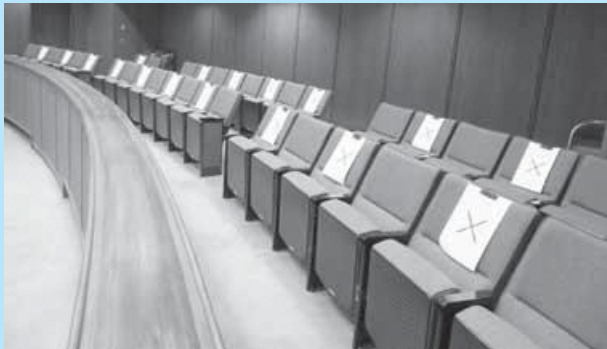
議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは必要ありません。傍聴席入り口にある受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

※現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、傍聴席の席数を減らしています。

※体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。

※入室の際は、手指消毒にご協力をお願いします。



総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和6年4月11日に所管事務調査を行いました

ふるさと納税の現状と今後の取り組みについて

ふるさと納税制度は、地方と大都市の税収格差是正を目的に、寄附者が応援したい自治体へ寄附をした場合、その寄附金額の一部が所得税や住民税から控除されるという制度です。

本市のPR、促進方法

ポータルサイトの有効活用として、上位に掲載されるように、返礼品にレビュー投稿のお願い文書を同封しています。

首都圏の駅構内にポスターの掲示や田植えツアー参加者にチラシ等の配布、物産展の会場・公共施設にチラシ等の設置をしています。

その他、PR動画のYouTube投稿や寄附のお礼・案内はがき等の送付、インフルエンサーを活用したPRの実施をしています。

寄附金の活用先

白鳥の瓢湖、五頭連峰、阿賀野川など、豊かな自然環境を守り育てる事業に合計4622万円、ふるさと阿賀野市の文化と子どもたちを守り育てる事業に合計2億3301万円、その他目的達成のために市長が必要と認める事業に合計3193万円となっています。

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

閉校した学校の利活用について

返礼品事業者との連携状況

事業者説明会を開催し、市の方針などを説明しました。返礼品事業者からは、返礼品にレビュー投稿をお願いする文書を同封した方がよいなどの意見がありました。

物だけでない返礼品の導入

宿泊券や温泉入浴券、ゴルフ場利用券、サントピアワールドの入場・乗り物乗車券、焼き物のろくろ体験などの返礼品を提供しています。

今後は宿泊券と利用券や宿泊券と入場券などの返礼品を開拓したいと考えています。

事務体制

ふるさと納税の事務は、4人の職員で行っていますが、繁忙期には担当課職員全員がワンチームとなって事務を行っています。

返礼品の品質管理

返礼品の募集に当たっては、阿賀野市ふるさと納税返礼品提供事業者募集要項に基づき審査・決定しています。苦情は事業者のみならず、阿賀野市も批判の対象となり、他の返礼品事業者にも影響を及ぼすため、事



業者説明会では、商品の品質や到着日など責任を持つて管理をしてほしいと説明しています。

質疑・委員会意見

説明を受けた後、委員からは、阿賀野市から流出している件数・金額や返礼品の品質管理、商品の不足・発送の遅延等に関しての苦情、寄附者のリピーター数などについて質疑がありました。

これらを踏まえ、現在実施しているPR促進方法をさらに拡充し、阿賀野市のPRや知名度向上につながるように努めてもらいたい。また、ふるさと納税制度は阿賀野市の魅力を全国に発信するまたとない機会で、返礼品事業者の販路拡大や財源を増やすための貴重な手段となっているため、より阿賀野市の魅力を全国に発信できる返礼品の開拓を期待するなどの意見がありました。

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和6年5月8日に所管事務調査を行いました

五泉地域衛生施設組合中間処理施設建設工事の進捗状況について

現在のごみ処理の状況と施設組合の動き

五泉地域衛生施設組合を構成する2市1町（五泉市、阿賀野市、阿賀町）のごみは、施設組合のごみ焼却場や不燃物処理センター、阿賀野市環境センター、阿賀町クリーンセンター等で処理を行っています。各施設は運転開始から25年以上が経過し、老朽化や設備機器等の交換時期を迎え、ごみ処理施設の更新が急務となっています。

そこで、国や県の施設整備方針を踏まえ、施設組合は平成25年から広域での施設整備や共同処理について検討を進め、新たな中間処理施設を整備することにより、この地域内の一般廃棄物について更なる集約処理を実施することに決定しました。

建設地と配置される施設

建設地は五泉市清瀬地区です。配置される施設は、管理棟やエネルギー回収型廃棄物処理施設、マテリアルリサイクル推進施設、雨水調整池、計量棟、洗車棟、駐車場、緑地帯などです。

工事の概要

工事の名称は「五泉地域衛生施設組合中間処理施設建設工

事」で、施設の愛称は「クリーンセンターあがのがわ」に決定しました。

ごみ焼却施設であるエネルギー回収型廃棄物処理施設は、地下1階・地上5階建て、不燃物処理施設であるマテリアルリサイクル推進施設は、地下1階・地上3階建てです。構造は、建物各部の特性に合わせて鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の組み合わせとなっています。

処理能力は、エネルギー回収型廃棄物処理施設で1日当たり122t、マテリアルリサイクル推進施設で1日当たり11tを計画しています。

施設の特徴

- ・国内で最も実績のあるストーカ式焼却方式を採用し、安全・安心で長期にわたり安定的な稼働を目指します。
- ・災害に対応した設備・体制を整え、災害時も継続してごみ処理ができるようにします。
- ・厳しい排ガス基準値を設定し、環境負荷を軽減します。
- ・効率の高い発電設備を採用し、施設の使用電力を賄うとともに余剰電力は売電します。
- ・ごみ処理で使用した水は施設

内で再利用し、外部に排水しません。

・施設見学をできるようにすることで、ごみ問題や環境問題を考えるための環境学習拠点となるように整備する計画があります。

質疑・委員会意見

説明を受けた後、委員からは施設の設計に関する将来的な想定や工事の進捗状況等について質問がありました。

これらを踏まえ、新しい施設が長期的な稼働を想定した上で、災害時にも対応することができ、環境にも配慮した設計になっていること、工事の進捗も予定どおりであることを詳しく知ることができた。また、実際に工事の現場を見ることができ、施設全体の規模もよく分かった。今後も令和7年4月の稼働に向けて順調に工事が進むよう祈念すると意見集約されました。



建設現場で説明を受ける委員

市の仕事を3つに分け、関係する議案等の審査や調査を行います。阿賀野市では議員1人が2つの委員会に属しています(ただし、議長は常任委員になりません)。

常任委員会の活動

産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和6年5月9日に所管事務調査を行いました

宝珠温泉保養センターあかまつ荘の現状について

宝珠温泉保養センターあかまつ荘のこれまでの経緯

令和4年4月1日 休館
令和4年8月～12月

第三者検討委員会

令和4年12月15日

提言書の提出

提言1…宝珠温泉保養センターあかまつ荘は、市による管理運営は行わない。

提言2…地域住民が主体となり、温泉施設として宝珠温泉保養センターあかまつ荘を運営する。

令和5年3月15日～5月31日
利用希望者の募集

令和5年5月30日

運営希望申請書提出（1人）

令和5年6月23日

疑義の照会

①応募条件の「市民が主体となる運営、地域住民との関わり方や取り組み」

②収入不足の補填方法と赤字補填の処理方法

③当初の運転資金

④入湯税を含めた計画の見直し
令和5年7月7日
運営希望申請書再提出

令和5年8月2日

疑義の照会

①市が管理運営し部分委託することは考えていない
(指定管理施設としての運営・維持を行う)

②市では上限設定のない赤字補填は行わない
令和5年8月14日
取下げ書の提出

政策会議で協議した結果

提言1…宝珠温泉保養センターあかまつ荘は、市による管理運営は行わない。

提言2…地域住民が主体となり、温泉施設として宝珠温泉保養センターあかまつ荘を運営する。

宝珠温泉保養センターあかまつ荘 今後の方針

第三者検討委員会の提言1を尊重し、民間事業者への貸し付けや譲渡、売却を検討し、その際は温泉施設としての運営を条件付けして提案を受け付けます。提案がない場合に限り、温泉施設以外の施設の有効活用を含めて検討されたいとしていることから、今後は、温泉施設としての運営案を広く募集することとしています。

質疑・委員会意見

・ボイラーを修繕すれば再開できるのか。修繕費の試算はしているのか。

↓第三者検討委員会で過去に試算したときは、約800万円であった。再開するためには、ボイラーやろ過機等設備の点検・修繕を含めると最低3か月以上を要する。
・宝珠温泉保養センターあかまつ荘隣の安田農村環境改善センターは、市民に貸し出さないうのか。

↓これから温泉施設として募集

することを考えており、民間事業者は施設を一体的に利用することから、現時点では難しい。

・貸し付けや譲渡、売却を検討とあるが、どちらで検討しているのか。

↓提案する相手方との相談次第となる。

・無償譲渡はあるのか。
↓条件によって検討の余地はある。

委員会意見

閉館して2年が経ち、利用者には大変ご不便をお掛けしています。運営希望申請が令和5年5月30日に提出され、期待感もありましたが、結果として諸条件が合わず、8月14日に取下げ書の提出がありました。

今回の現地調査を踏まえ、各委員から質疑・意見等がありましたが、「市による管理運営は行わない」という大前提があり、市が主体的に強い意志・考えがない限り、現状において再開は難しい状況であります。市民から納得してもらえる形で開館されるよう強く要望します。



あかまつ荘の施設を見学する委員

5月10日以降の 各委員会の構成員を 紹介します

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

◎宮脇 雅夫	○百都 順也	山口 功位
風間 輝榮	大滝 勝	遠藤 孝
荒澤 浩和		

総務文教常任委員会

◎百都 順也	○荒澤 浩和	遠藤 智子
山口 功位	宮脇 雅夫	風間 輝榮
村上 清彦	岡部 直史	近山 修
松崎 良繼		

社会厚生常任委員会

◎大滝 勝	○遠藤 孝	遠藤 智子
宮脇 雅夫	岡部 直史	天野美三男
清野 栄一	百都 順也	荒澤 浩和

産業建設常任委員会

◎山口 功位	○風間 輝榮	村上 清彦
近山 修	天野美三男	清野 栄一
松崎 良繼	大滝 勝	遠藤 孝

議会改革推進特別委員会

◎清野 栄一 ○宮脇 雅夫

政策部会、広報広聴部会、運営部会の詳細については、市ホームページをご覧ください。

議会改革推進特別委員会作業部会 視察研修

令和6年5月16日に視察研修を行いました 長野県伊那市議会の議会改革の取り組みについて

伊那市は長野県南部、伊那谷北部に位置し、南信地方に区分される人口が65,129人(令和6年5月1日現在)、面積が667.93km²の市です。

議員定数は21人(うち女性議員5人)で、早稲田大学マニフェスト研究所が行う議会改革度調査で例年30番台から100番台にランキング入りし、令和4年度は総合18位(住民参画部門2位)と評価されました。

「市民に信頼される議会」「市民に開かれた議会」を目指して、多様な取り組みがなされていますが、令和元年度から令和5年度までの主な取り組み内容は、市内中学生のキャリアフェスへの参加や市内高校生による議会傍聴・意見交換・グループ懇談のほか、市民との意見交換会の開催です。令和4年6月に議会改革特別委員会を設置し、約2年間検討を行い、令和6年度からの取り組みとして、①市民参加の機会を増強するため、政策サポーターの導入を決定し、4月から募集を開始しています。また、②議会機能の強化として、所管事務調査のガイドライン策定や政策サイクルの導入を行い、政策提言につなげることにしています。

若者の政治離れ・選挙離れが言われて久しいですが、伊那市議会における中学生のキャリアフェス参加や市内高校生の議会傍聴・意見交換等の仕掛けは、5年も継続して行われており、政治に興味を持ってもらうという観点から素晴らしい取り組みで、本市議会においても取り組む必要があると思われます。

市民との意見交換会においては、市民からの意見や課題を執行部に伝えて終わりではなく、きちんと対応・改善するまで一般質問等で対応を求めています。議会に対する市民の信頼度も向上することが見込まれ、本市議会も対応可能と思います。

伊那市議会では、平成27年に「市民に開かれた議会」という観点から、傍聴規則を改正し、自由な傍聴(住所・氏名の記載不要)を実施しています(伊那市議会の本会議における傍聴者数は年間約400人)。全国的にも自由な傍聴が増えており、本市議会も実施に向けて検討すべきと思います。また、本会議のほか、委員会の中継も行っており、本市議会も導入したいと思います。

その他、今回の視察においては、同行の委員からも参考にすべき点など、それぞれの観点から自由な視察の所感を述べてもらっており、議会改革に生かしていきたいと思います。(清野委員長、宮脇副委員長、遠藤(智)委員、風間委員、松崎委員、荒澤委員)





無会派
近山 修

市長の選挙公約に向けた取り組みと決意について

質問 選挙チラシを見ると、市長の選挙公約に9項目を挙げていますが、選挙公約実現に向けて具体策があるのか伺う。

答弁 初登庁後、国や県、各市町村、本市と関連のある団体や企業へ挨拶に伺うとともに、各種会議などの会合に出席している。その中で現実として、先送りされてきた課題や身近な課題、中長期的に対処が必要な課題、組織・業務を推進する体制の課題など、多くの課題があることをあらためて知らされた。課題解決に向けて、まずは行動



無会派
清野 栄一

市長選挙について

質問 4月21日、市長選挙が執行されたが、投票率は53・5%で約半数が棄権、市のトップを選ぶのに低い投票率と思う。特に20代の投票率は29・2%であり、40代までは平均以下である。若者の意識啓発のため、まずは小中学校から総合学習などで議会傍聴はできないものか。

答弁 今年度はカリキュラムが決まっており、今後検討したい。

質問 低投票率の要因には諦め感もあるという答弁であるが、今回、県議や保守系市議、建設業界が組織的支援を決めたとの報道で、大勢が決まり投票しな

を起こすとともに、人的・物的・財源的な裏付けを確認しつつ、議員や市民の皆さまに状況や情報を提示し、共有を図り、現場に出向きながら公約実現に向けて取り組むことが大事であると考えている。

質問 市長が得意とする農業分野では、市内の各集落に特産品をつくり活性化を図る「一集落一品目」等のアイデアを温めていると報道されている。これまでも助成金などを活用し、カリフラワーやじゃがいもなどを取り組んできたが、尻すぼみのような状態である。若手の育成や機械化への助成を行わなければ成功しないと思われるが、市長の考えを伺う。

答弁 集落の活性化を図るため1集落1品目を提案した。適地適作が前提のため、集落と十分話し合いをしながら目指すべき方向を定めたい。

いという話もある。それも低投票率の一因とも思われるが。

答弁 必ずしもそうとは思わない。

市長の政治姿勢について

質問 「聞く政治」とは何か、また、最重要課題とその対応策は。

答弁 こちらから出向き、話を聴くこと。重要課題は人口減少や産業の生産性確保、遊休資産、災害対策など。

質問 市民の声として、出口調査では子育て支援(給食費支援)を望む声が多い。人口も社会の中核を担う30代が令和2年4月から4年間で600人も減少。人口減少だけでなく、重要課題は多い。

答弁 人口減少だけでなく、重要課題は多い。

学校給食無償化について

質問 市長は段階的無償化を公約にしている、前市長において

質問 「聞く政治」を前面に主張されているが、国や県の顔色をうかがう政治ではなく、市民の声を聞いて4年間、市のかじ取りをお願いしたいが、見解を伺う。

答弁 顔色をうかがうということとは今までもない。まず聞くということを是としているので、これからもそのことを肝に銘じてやっていきたい。



3分の1の支援が実施されたが、残り3分の2のスケジュール感について伺う。

答弁 有機米の導入や保護者の負担軽減と産業支援について複合的に検証し、国の動向も踏まえた上で決定する。

質問 有機化はぜひ進めてほしい、韓国は大半が有機である。ただ、無償化の話は別物であり、選挙公約でうたっているが、国の動向も踏まえるとはおかしい。選挙対策であれば詐欺的である。

答弁 保護者の話を聴くこと必ずしも要望度は高くない。



◆その他の質問◆ 水原駅の無人化への対応について



無会派
遠藤 智子

带状疱疹予防接種費用助成を

質問 高齢者の日常生活の質を低下させる带状疱疹の予防接種費用助成事業が県内13市町に広がり、接種費用の2分の1補助での実施が聞かれる。発症や後遺症の予防のため、本市でも接種費用助成事業を実施すべきでは。

答弁 感染症対策全般に係る取り組みを推進する中で、優先度や予算などを総合的に判断し、带状疱疹を含めたワクチン接種の助成について実施に向けた検討を進める。



日本共産党
宮脇 雅夫

新市長の公約の具体的な実現方向は

質問 全国的に広がっている学校給食費の完全無償化は、阿賀野市でも12月議会に2100人余りの請願署名が提出されており、住民の強い願い。公約では「段階的に無償化」「確固たる財源」を掲げているが、いつまでに無償化するのか。

答弁 無償化の実施は、継続的かつ安定



自転車用ヘルメット購入費補助を

質問 ヘルメットの着用が、昨年4月から全年齢で着用努力義務となり、県は着用促進のためヘルメット購入費助成事業を行う市町村に対して補助する取り組みを推進している。新発田市では18歳以下の市民を対象に助成事業を実施しているが、本市でも自転車の安全利用促進のため購入費助成事業を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 県の補助制度を活用し、自転車に乗る機会が多い若年層への浸透や子育て世代への支援を目的に「阿賀野市自転車ヘルメット購入費補助金交付要綱」を9月補正予算編成前までに制定す



小中学校体育館のエアコン整備について

質問 高温時期における体育の授業などで熱中症のリスクを回避し、安心安全な教育環境を整えるため、総務省や文部科学省の事業を活用して空調整備を進めている自治体もある。本市の整備計画を伺う。

答弁 屋内体育館を含む学校施設の改修については、阿賀野市学校施設長寿命化計画・個別施設整備計画に基づき整備を進めている。屋内体育館は災害発生時に地域の避難所としての機能も有しており、補助金等の情報収集や国の動向を注視しながら必要に応じて整備計画の見直しを行っていく。

運営状況悪化は、市としても認識しており、総合事業における生活支援のみのサービスの報酬単価を引き上げ、事業所の支援を行っている。

質問 吉田東伍記念博物館を充実させるために、運営組織の本格的検討と後継者の育成を進めるべき時ではないか。

答弁 運営の方向性は関係者と協議して定める。専門性が問われる博物館の職員については、長年従事した職員の後継者育成として、学芸員の新規採用も検討する。

◆その他の質問◆ 基金の活用、宝珠温泉あかまつ荘の再開、安田体育館を存続し耐震改修を、個人情報自治会長への提供問題について

答弁 小規模訪問介護事業所の



新風あがの
天野美三男

獣害対策について

質問 新潟県の令和4年度野生鳥獣による農作物被害金額は約24億円となっている。以前は鳥類の被害が大半だったが、近年阿賀野市はイノシシの被害が多くなっている。また昨年は、クマの大量出没と人身被害の多発が全国的に問題となっている。全国の人身被害の数は212人、そのうち6人が亡くなり、統計開始以降最多となっている。特に東北地方での被害が大きいのが特徴である。

また、新潟県鳥獣被害対策支援センターの情報によると、令和6年度5月時点でのツキノワ



日本共産党
岡部 直史

狭あい道路と周辺の危機管理について

質問 市内の狭あい道路やその周辺の傷病者の搬送について伺う。

答弁 道路幅が狭いなどの理由で救急車の進入ができない場合は、徒歩により傷病者の救急活動を行う。通報により重症と判断される場合は、消防車も出動させ、救命処置を最優先とし、搬送活動は消防隊が行う。狭あい道路に対する新たな対策として、出動指令書の地図に狭あい道路を表示させることを進める。



グマ目撃情報は既に86件である。人身被害件数は阿賀町で1件であるが、新聞報道等によると、他県でもすでに人身被害が多発している状況である。このような状況の下、集落で獣害を発生させないように、放任果樹の伐採や耕作放棄地の敷を刈って隠れ家をなくす活動をしているが、現在の取り組み状況等を伺う。

①農地を守る自助の取り組み状況について

②集落を守る共助の取り組みを実施している地域について

③高齢化や人口減少が著しい中での学校との連携について

④ジビエの利用について

答弁 安田地区や笹神地区の山間地域において、電気柵は13か所、防護柵等の設置箇所は多数

阿賀野バイパス開通に関わる交通安全対策について

質問 バイパス開通に伴い、インターに接続する道路(住宅地、通学路)の車両交通量が増大することに対する道路安全対策を伺う(市道若葉町安野川線)。

答弁 指摘された市道は、月崎インターへのアクセス道路で、交通量が増加している。今後も周辺環境の変化により交通量も大きく変わることが想定される。交通量調査や通学路の点検を行い、周辺自治会の要望を聞きながら阿賀野警察署と共に交通安全対策を講じる。

議論が深まっていない原発再稼働について

質問 地元紙の報道では「県会議員や市町村長の間でさえ、再稼働の是非について議論が深

確認している。笹神地区の4集落で鳥獣害対策チームを立ち上げ、猟友会と連携した対策や狩猟免許の取得に取り組んでいる。学校との連携については、目撃情報が頻繁にある地域の児童生徒に「フマよけ鈴」を無償で配布し、保護者には保護者連絡帳アプリを利用して注意喚起を行っている。ジビエ料理に関しては、地域資源として有効活用する取り組みの広がりを把握しており、本市でも対応を考えている。



まっているとは言えない現状」とのことだが、市長の見解を伺う。

答弁 現時点では判断できるデータが示されていない。安全が担保されていない状況では、判断できない。

質問 原発事故が生じた場合、本市は長岡市からの避難者を受け入れる計画だが、地震などの複合災害が発生した場合、阿賀野市民も被災することになる。

答弁 複合災害の場合、本市の影響が心配される。避難行動・避難経路の確保など未解決な課題がある。

◆その他の質問◆ 自転車ヘルメット購入助成について



日本共産党
松崎 良繼

農業・農村の危機への対応は

質問 食料・農業・農村基本法改定への見解を伺う。

答弁 世界的な食料情勢の変化などから見直しが行われた。今後定める基本計画の中でどう反映されるか注視していく。

質問 食料自給率の向上を食料安保の1つに格下げし、輸入のいっそうの拡大を掲げている。安全保障を言うのであれば、軍事費倍増でなく、農業、食料自給にこそ大幅予算増を国に求めるべきでは。

答弁 農業予算の増額については、全体のバランスの中で国の責務で判断すべきものと考えている。



新風あがの
荒澤 浩和

市道の白線の点検・補修について

質問 学校周辺の白線の点検と、より早急な補修を可能とするための市の対応。

答弁 市道の通学路の危険箇所の点検は、各学校で毎年4月に実施しており、前年までの通学路点検の検証内容も併せて確認している。点検の結果、対策等が必要な危険箇所は、道路管理者や警察に報告して、順次対策が進められている。

質問 学校周辺の白線の点検・補修等の対応や優先順位は。

答弁 横断歩道や停止線などの交通規制に関する白線は新潟県

質問 この44年間で農水予算は3兆5千億円から2兆2千億円に減る一方、防衛予算は2兆2千億円から7兆9千億円に増えている。あまりにもひどいバランスだ。市の有機農業の地産地消を図る取り組みは評価するが、本格的に広げるには市の独自財源も組んで進めてほしいが市長の考えは。

答弁 先進地である千葉県いすみ市への実地研修を計画している。市全体の取り組みとすると、一般財源も活用しながら進めていく。



会計年度任用職員制度の改善を

質問 子の看護休暇が小学校就

学前までで無給という格差はすぐにも是正を。

答弁 一般職員は中学校就学前までで有給となっている。県民の動向に注視し、状況に応じた対応をしていく。

質問 給与改定の一般職員並みの4月遡及を今年度は実施を。

答弁 県に準じて実施の可否を判断していく。

ジェンダー平等の前進を

質問 パートナリシップ条例を阿賀野市でも制定を。

答弁 今後検討していく。

質問 市の幹部職員の女性登用が前進していない。女性登用の具体策を伺う。

答弁 部課長級の女性職員が少なくと感じている。女性職員のキャリア形成の支援、管理職への積極的登用に努める。

答弁 練習体制や指導者が変わることで、生徒が困惑したり、不安になったりする懸念があるが、今のところそのような指摘はない。

質問 移行したクラブへの問題点や改善点のアンケートは実施したか。

答弁 アンケートを実施したことはないが、円滑な移行を図る上でも適宜実施したい。

質問 部活動と同等以上の支援は、地域クラブにもできるのか。

答弁 下越地区大会に参加する際の貸切バス使用料等の補助や、県大会に参加する際の参加費、交通費、宿泊費の補助の支援を実施しているほか、指導者には謝礼を支給しており、部活動と同等程度の支援を行っている。今後も地域クラブが増えていく中で継続できる支援を実施していきたい。



中学校の部活動の地域移行について

質問 移行した地域クラブの現状は。



新風あがの
大滝 勝

緊急時の高齢者への周知について

質問 本市では、安全安心メールやLINEによって緊急時の情報発信をしているが、スマートフォン所有率の低い高齢者には伝わりにくいと思われる。いかにしてデジタル難民といわれる人たちに正確な情報を伝えていくのか、市長の見解を伺う。

答弁 携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの情報端末機器を持っていない割合が高いと思われる高齢者に対し、災害時における情報手段を確保することとは喫緊の課題である。この課



新風あがの
風間 輝榮

「算数のまち・すいばら」について

質問 江戸時代の和算家、山口和の立て看板を本町商店街に設置・PRしているが、年間応募数と継承方法の検討について。

答弁 応募数は多かった年で100件以上、令和5年は5件。現状、解答者は多くないが、子どもたちが解き、解き終えたら粗品をもらって喜んでいて。経費も少額で、継続していく意向である。



題への対応としては、防災行政無線での放送をはじめ、広報車両による広報や自治会長・民生委員・消防団員の訪問・見回り等により情報伝達を図っている。特に避難情報は県を通じてテレビにテロップ表示されるので、これらのさまざまな手段を活用して対応している。

質問 災害時には、さまざまなツールを使って対応しているようだが、やはりスマートフォンによるメールやLINEが一番確実で早い伝え方だと思う。本市の高齢者のスマートフォン保有率を伺う。

答弁 全国的な数値では、70歳代が83%、80歳代が62%であるが、本市はもっと低いと思われる。

質問 最近、あがのポイントもスマートフォンで使えるようになったが、今あるポイント付与事業に加えて、八王子市のように

子育て支援金について

質問 少子化対策の支援金制度において、社会保険料に上乗せして徴収する年収別の試算はどのようなものか。

答弁 こども家庭庁の試算では、年収200万円で月額約350円、400万円で約650円、600万円以上で約1000円。本市の給与収入者の8割は1000円以内と考えている。

閉校・解体予定(京ヶ瀬体育館)の活用について

質問 「スケートボード愛好会」が解体予定の体育館の貸し出しを要望しているが、何が障害となっているのか。

答弁 施設の老朽化が著しく、利用者の安全確保が困難である。

な、歩く・バランスの取れた食生活・脳トレ等でポイントが貯まる高齢者向けの事業を加えて魅力あるポイント事業にし、高齢者からスマートフォンに興味を持ってもらえれば、緊急連絡の迅速化・フレイル予防・商店の活性化につながるが、実行してはどうか。



阿賀野市の都市計画道路について

質問 水原バイパスが全線開通するに当たり、本市の都市計画道路をどのように考えていくのか伺う。

答弁 阿賀野市都市計画マスタープランにおいて、国道49号阿賀野バイパス、国道49号、国道290号、国道460号、主要地方道白根安田線を市の主要路線と位置付け、これらとのネットワーク化を方針として掲げている。その他の都市計画道路についても事業化に向けて国や県と協議を進めていく。



新風あがの
遠藤 孝

公共施設における太陽光発電の導入について

質問 本市の計画と現在の実施状況について伺う。

答弁 阿賀野市地球温暖化対策実行計画では、太陽光発電の導入に関して令和12年度までに、設置可能な建築物等において面積の約50%以上の太陽光発電導入を目標としている。実施状況は、現在3施設(阿賀北葬斎場、水原中学校、消防本部)が導入されており、いずれも自家消費である。今年度は笹神体育館に導入予定である。市内の公共施設で太陽光発電を導入する可能性のある施設は33施設であり、今後順次導入を検討していく。

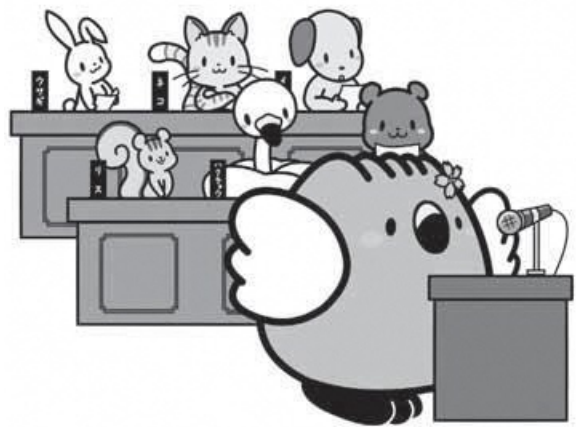
宝珠温泉保養センターあかまつ荘の今後について

質問 市長の考えを伺う。

答弁 今後については、「市による管理運営は行わない。民間事業者への貸付や譲渡、売却を行うことを検討されたい」という第三者検討会からの提言に基づいて、温泉施設としての運営提案を広く募集することとしている。また、さまざまな方向から検討や検証し、財政負担を極力抑えながら温泉施設として再開できるのか模索していく。



- 一般質問は1人60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが繰り返されます。議会だよりに掲載している内容は質問議員がまとめたもので、要旨を掲載しています。
- 議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、市ホームページの市議会の映像配信のページでその議員の6月定例会での一般質問のやり取りが視聴できます。
- 一般質問の詳細については、会議録または市ホームページでご覧いただけます。6月定例会分は9月上旬に公開予定です。会議録は、市立図書館、各支所、市役所1階ロビーに用意しています。



次回 9 月定例会の予定

8月23日の議会運営委員会で正式に決定します。
その後、市ホームページでお知らせします。

月 日	会 議 名
8月23日(金)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
9月 3日(火)	本会議(議案上程、一般質問)
9月 4日(水)	本会議(一般質問)
9月 5日(木)	本会議(一般質問)
9月 9日(月)	総務文教常任委員会
9月10日(火)	社会厚生常任委員会
9月11日(水)	産業建設常任委員会
9月13日(金)	決算審査特別委員会
9月17日(火)	
9月18日(水)	
9月20日(金)	本会議(委員長報告、採決)

議員表彰

全国市議会議長会、北信越市議会議長会から、25年以上市議会議員の職にある者として山口功位議員が表彰され、6月4日、表彰状が伝達されました。



新議員の紹介

4月21日執行の市議会議員補欠選挙で当選した議員を紹介します。

議席番号 8

あまの
天野

みさお
美三男

(榎船渡)
社会厚生常任委員会
産業建設常任委員会
新風あがの

令和5年度（4～3月分）政務活動費の収支を報告します

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、条例に基づき会派または議員に対して交付されるものです。
政務活動費は1人当たり月額1万5千円が交付され、残額は市に返還します。

(単位：円)

会派名・氏名	収 入	支 出						合 計	残 額 (返還額)
		調査研究費 (資料印刷費・調査委託費・文書通信費等)	研修費 (交通費・宿泊費・文書通信費・参加費等)	広報費 (広報紙・報告書等印刷費、文書通信費等)	資料作成費 (印刷製本代、消耗品等)	資料購入費 (書籍購入費、新聞雑誌購読料等)	事務所費 (維持管理費、事務機器購入・リース代等)		
日本共産党(3名) 宮脇 雅夫 岡部 直史 松崎 良繼	540,000			542,411				542,411	0
公明党(1名) 村上 清彦	180,000	18,793	67,960	33,478		64,933		185,164	0
市川 英敏	180,000			33,148		67,683		100,831	79,169
山口 功位	180,000		166,500	33,748				200,248	0
風間 輝榮	180,000		51,860	33,423	6,465	74,371		166,119	13,881
大滝 勝	180,000		165,130	33,148		55,200		253,478	0
百都 順也	180,000		62,360	33,148		66,360		161,868	18,132
加藤 博幸(12月まで)	135,000			13,050	21,930	69,027		104,007	30,993
遠藤 孝	180,000			33,148		28,184		61,332	118,668
荒澤 浩和	180,000		196,920	33,148		6,380		236,448	0
遠藤 智子	180,000			33,698		85,317		119,015	60,985
近山 修	180,000					53,124		53,124	126,876
清野 栄一	180,000			396,495				396,495	0
天野 市榮	180,000			176,511		11,160	19,800	207,471	0
合 計	2,835,000	18,793	710,730	1,428,554	28,395	581,739	19,800	2,788,011	448,704

注) 広報費、要請・陳情活動費、会議費、人件費の支出は、いずれの会派、議員共に0円でした。

発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会
広報広聴部会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：0250-61-2489
FAX：0250-61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

お問い合わせは
こちらから



次号は令和7年1月発行の予定です。

議会改革推進特別委員会広報広聴部会
部会長 松崎 良繼
副部会長 岡部 直史
遠藤 智子
村上 清彦
天野 市榮
近山 修
清野 栄一

広報広聴部会部会長 松崎 良繼

国政では政治改革が焦点となっていますが、本市議会では、より市民の声を生かす議会活動の在り方を巡って検討が進められています。先日、議会改革推進特別委員会の作業部会が長野県伊那市を視察し、同市議会の方々と意見交換をしてきました。市内の小中学生との交流や議会傍聴を増やす取り組みなど、いくつも刺激を受けてきました。

編集後記

